

開催日時	テーマ	説明	主催・連絡先
8月7日(木) 15:00~16:00	鉄道マニアになろう	「出発進行」とは発車しますということではありません。(ではどんな意味??) イロハから鉄道のことを知ろう。鉄道のことを皆で楽しくおしゃべりしよう!! 参加費:中学生以下100円、大人300円	鈴木 ☎080-1022-2281
8月9日(土) 13:30~15:00	般若心経を読む会	テーマ「般若心経の解体:成道」般若心経をいろいろな方向から分析します。参加費:500円	成清(なりきよ) ☎080-1362-5359
8月16日(土) 14:00~17:00	みたか ICTサロン	jimdoのホームページ操作方法を学びます。おいしいお飲物を用意しております。参加費:500円	みんなのみたか ☎090-9293-7636(すどう)
8月20日(水) 19:00~21:00	タときオレンジカフェ・みたか	認知症や高齢者を介護している人々の家族会/何でも相談室です。みたか・オレンジカフェの姉妹会でもあります。参加費:無料。申込み不要。	みたか・認知症家族支援の会(石村) ☎080-6627-3551
8月21日(木) 13:30~15:00	シニアの働き方を考える	シニアにとって、就職することは簡単なことではありません。シニアにとっての就職がどういう意味なのかを考え直します。参加費無料。	わくわくサポート三鷹 霧島 ☎0422-45-8645
8月22日(金) 14:00~15:30	ママと子どもの科学あそび	年長組~小3対象の科学あそびをお母さん方と子どもで楽しみましょう。材料費:200円。定員:3家族7人位(小さいお子さんの同伴可)。テーマ:「見えても見えない:脳のふしぎ」(要事前申込)	三鷹科学あそびの会(石村) ☎080-6627-3551
8月23日(土) 13:30~15:00	タロット占い 初級講座	内容:タロット占いに興味のある方、自分でタロット占いをやってみたい方、タロットを初歩からご案内します。参加費:500円。	ミスティ・ローザ ☎080-1362-5359(なりきよ)
8月28日(木) 13:30~15:00	茶話会 第3の人生 “老いては子に従い?”	第三の人生の心と身体の健康をながく維持するために、終の暮らしについて考えましょう。参加費:500円	NPO法人 HumannLoop 人の輪 ☎090-7632-7251 竹内
8月29日(金) 14:00~15:30	みたか オレンジカフェ	認知症、高齢者介護のなんでも相談。参加費:無料。申込み不要。対象:本人、介護している家族の方。	みたか・認知症家族支援の会(石村) ☎080-6627-3551
8月 毎週火曜日	参加条件、開催日等については、主催者までお問い合わせください。		篠山(しのやま) 090-8558-1014

あずましの輪
誰もが参加できる「いっしょにご飯たべましょ」という集いの場です。
三鷹市井口4-3-1太陽荘103号
☎0422-30-9190
NPO法人Humanloop「人の輪」

みたか・認知症家族支援の会
認知症や高齢者介護で悩むご家族の「なんでも相談の場」。毎月第1火曜・第3木曜(ボランティアセンター)・第4金曜(オレンジカフェ:当広場)
☎080-6627-3551 石村

三鷹市医療と福祉をすすめる会
医療・福祉の相談事業、研修・学習会や、医療機関とのネットワークの緊密な連携を目指しています。
☎0422-44-4962 駒林

まだまだ続く、真夏のワークショップ

団塊の世代はどこへ行くのか?

第3回 市民リレートーク

飛び出せ!
団塊世代!

みなさん、退職後のこれからの時間を使って、なにをしようとお考えですか?
働く、起業をする、社会貢献をする、等取り組むテーマはたくさんあるでしょう。ご自身の方向性を探すために、同じ立場の方々と話し合っ、自分らしいヒントを見つけませんか。

トーク 酒井 利高さん(社会福祉士)
テーマ「セカンドステージをどう生きるか」
開催日時 2014年8月4日(月) 13時30分~15時30分
場所 三鷹市市民協働センター 2階 第2会議室
参加人員 50名(申し込み順)
参加費 無料
申し込み ☎080-1362-5359 なりきよ

*団塊の世代も企業戦士から卒業して、本当の意味の「社会人」として再出発することになります。このトークサロンは、再出発のための指針として役立てていただけたらと思っています。

トーク 風の里介護センター 野月接子さん
テーマ “実務家が語る介護の真実”

開催日時 8月25日(月) 午後1時30分~3時30分
場所 みたか・みんなの広場
参加人員 20名(申し込み順)
参加費 200円(資料及びお茶代)
申し込み なりきよ
☎080-1362-5359

*介護保険が始まる十年以上も前から、介護事業に携わってこられた、風の里介護センターの野月さんに、ご自身の経験を踏まえて、介護の実態についてお話をさせていただきます。

第4回市民リレートーク

- 日時 9月最終月曜
- トーク 交渉中です。

お楽しみに!

今月の言
六月に、上連雀の都営住宅で、九〇歳の夫が八七歳の妻をあやめるという事件がありました。妻は胃がんの手術を受けて弱っており、夫はパーキンソン病で体の痛みがひどく、妻も私を殺して自分も死ぬのうと思っしたといひました。
三鷹市は、従来からコミュニティの創生を掲げ、地域ケアの充実を努めてきたが、見守り活動も行ってきましたが、またその成果は十分でないようです。市役所からすぐ近くの、高齢者が多く生活していることは自明の都営住宅でこのような事態が発生したことは、大いに眼精すべき点ではないかと
下連雀6丁目社会教育会館(社協)があり、図書館本館の南側にボランティアセンター(ボラセン)があります。このふたつは、これまで市民がさまざまな活動をする拠点として市民が活躍の場を築いてきました。特に、ボラセンの活動は長く、行政が高齢者問題に取り組み以前から、積極的に取り組んできました。そのふたつの活動を点か、庁舎建替えにより、消滅しそうな情勢にあります。
上連雀の事件からも、今後、市と市民が協同して高齢者の支援活動に当たる体制をつくるべきだと思ひますが、そのための拠点がなくなりそうなのが、困ったことです。
社協とボラセンで活動している市民を中心として、市と協議をして、これまでよりさらに充実した活動拠点を備わっていただくようお願いしたいと考えています。

第一回リレートーク「だれでもなれる市民ジャーナリスト」
6月30日 於みたか・みんなの広場

みんなの広場の新企画である、リレートークがスタートしました。一回目は元編集者である、岩永泰造さんから「だれでもなれる市民ジャーナリスト」ということでスピーチをいただき、その後参加者を交えての熱心な意見交換会がありました。ここでは、当日の岩永さんのスピーチを要約してお届けします。(記録:成清)

今回はみなさんにお話しして単に聞いていただくというより、できればみなさんと一緒にコミュニティ・メディアづくりをしてみようというワークショップの提案です。

今回のテーマの「コミュニティ・メディア」は60年代に、肥大化した既存メディアに対抗しようとする市民ジャーナリストによって生まれました。

ところが2000年からネットが爆発的に拡大し、様々なネットジャーナリズムも起って、既存メディアはネットによって存立の基盤が脅かされます。その新しく興隆したネットジャーナリズムもSNSなど新しいIT技術によって2009年前後に駆逐されてゆきます。

つまり今は、あらゆるメディアそのものの制作・収益モデルが不確定になっているのです。その結果、「売れること」のみが基準となり、ますます情報が一元化され、われわれにはメディアバイアスがかけられてきています。それは製薬会社などとリンクした「健康番組」の数多さと健康危機を煽る内容（データ改ざんやでっちあげ事件が頻発）を見てみればわかるでしょう。

こうした時代だからこそ、われわれにほんとうに必要なメディアとはなんでしょう。市民の手によって作られる「コミュニティ・メディア」は、既存のジャーナリズムの枠にとらわれず、ボランティアだからできる「市民参加型メディア」のありかたを追求することができるように思います。自治体を含む現実的なコミュニティの中で、人々の関心や認識の共通性に基づいて形成される知識を共有して新たな知恵を生み出し、問題解決する「ナレッジコミュニティ」を生み出すことのできるメディアを作れないでしょうか。

以下提案する「コミュニティ・メディア」は、私の思い付きに過ぎずぜひみなさんのお知恵を借りたいのですが、現在、活用できる手段は、紙媒体+ネット（HP+ブログ）+YouTube+FB+Twitterなど多様にあります。紙媒体以外はほとんど経費をかけずに済みますので、最適な組み合わせを試みたいと思います。

内容的にはありきたりですが、①NEWS（市民の独自取材記事etc）、②市民のハブチャンネル（ばらばらなNPOを結びつけるための体験・紹介記事etc）、③パブリックアクセス（市民からの意見・活動報告・市民会議室・外国人etc）、④リテラシー・エデュケーション（市民の豊富な経験を

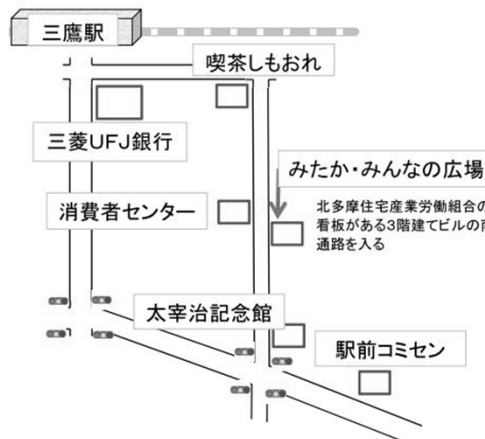


活かすコラム・講座・アクセスetc）、⑤エンタテインメント（市民の率直な見方による映画・本・雑誌・お店・料理etc）、⑥情報（市民同士の交換・レンタル・募集etc）などが考えられます。

また財政的基盤としては、最初は①参加費（製作費÷参加人数）+協賛費+寄付、②広告収入（紙面+ネット）、③三行広告（紙面+ネット）などが考えられますが、収益モデルはそれにとらわれず、もっとみなさんの自由な発想をお借りできればと思います。

実際の運営制作にあたっては、①記事作成、②編集・DTP制作、③HP・映像制作、④財政・進行管理等の機能が必要となるでしょう。これもまた単なる分業ではない運営制作システムが考えられるのではないのでしょうか。ありがとうございました。

みたか・みんなの広場 下連雀3-16-18



中原農家では、野菜全滅

6月24日三鷹で大量の雪が降りました。友人や親戚から、大丈夫?という連絡を受けた方も少なくないでしょう。雪は、三鷹の中原地区に集中していたので、ほとんどの方は影響はなかったと思います。しかし、中原地区の農家では、栽培中の野菜に大きな被害を受けました。前回までこの欄で「ボランティアの手作り野菜」を書いていただいた緑菜子さんがお手伝いをしてる農家でも茄子が全滅だそうです。緑菜子さんは、翌日から時間をみつけては、農家の片づけ等のお手伝いに通っています。テレビや新聞では、もう過去のニュースとなり、農家の被害については報道はまったくありません。しかし、同じ市に住む市民としては、なにをしていいかわかりませんが、できることがあればやらせていただきという気持ちを持って、いたいと思うのです。



葉に穴のあいた茄子

募集

みたか・みんなの広場 カフェボランティアスタッフ



「キレイゴトぬきの農業論」

著者久松達央は、大学卒業後サラリーマンをやっていたが、5年後に突然農業に転向したそうである。その理由は本書では語られてはいないが、聞いてみたい部分がある。

まず、有機栽培三つの神話ということで、①有機だから安全、②有機だから美味しい、③有機だから環境のいい、ということについて、疑問を提示する。そして、この三つが「常識のウソ」であることを喝破する。

では、どういう農業を目指すのか、という疑問に対して、「健康な野菜」づくりを目指す、と答える。そして、農業はどうあるべきか、とい問題提起をする。

とにかく、農業の素人がはじめて、曲りなりにも成功するために、なにをしたか。それは、「常識に従うことなく、自分の頭で考える」ことを徹底してやっているのである。

私たちが、市民として活動する場合にも、同じことが言えるのと思っている。「旧来の常識で判断することなく、自分の頭で考える。」ということである。(写真は、著者の栽培したホウレンソウと普通のホウレンソウ。)



NPO法人グレースケア機構
住み慣れたところで豊かな暮らしをいつまでも!家事から介護、通院、観劇、趣味、旅行まで幅広いケアを提供しています。
☎ 0422-70-2805 柳本

みたか
便利屋ネット

シニアの活動と高齢者への支援の両立を目指しています。参加者を募集しています。
NPO法人日本シニアジョブクラブ
☎ 080-1362-5359 なりきよ

居場所づくり活動

みたか・みんなの広場

毎月いろいろなサロンを開始をしています。にご参加ください。
三鷹市下連雀3-16-17
☎ 080-1362-5359 なりきよ

あずましの輪

誰もが参加できる「いっしょにご飯たべましょ」という集いの場です。
三鷹市井口4-3-1太陽荘103号
☎ 0422-30-9190
NPO法人Humanloop '人の輪'

あなたの居場所 さとうさんち

6月10日午前10時～午後3時
三鷹に居場所をつくるプロジェクト
三鷹市上連雀2-7-5
☎ 090-5819-5234 黒須

ラ・ターブル

レストラン、カフェを井の頭公園の林の横につくりました。
ランチタイムメニュー
洋プレート1,000円 和プレート1,000円
その他コース料理など 2000円～(要予約)
三鷹市井の頭5-16-1
☎ 0422-41-1273

三鷹科学遊びの会

遊びの中でサイエンスの考え方を身に着けようという提案・活動です。毎月第4金曜に当会場で(ママと子どもの科学あそび)。各小学校や図書館などでも実施。
☎ 080-6627-3551 石村